



中央に広い空間が確保され、ウッドデッキへとつながる

## グループホーム ひきめの森

GROUP HOME HIKIMENOMORI

### 木と鉄の複合梁<テクノビーム>により中央に広い食堂・居間空間を確保

グループホーム ひきめの森は、約1,000m<sup>2</sup>の敷地に建てられた延床面積約300m<sup>2</sup>の平屋建グループホーム。JA初の認知症高齢者対応施設である。岩手県宮古市は地域密着型サービスの一環として認知症対応型共同生活介護事業を進めている。この平成25年度事業として認可されたのが当該施設。宮古市の中でも盛岡に近い東部方面は福祉支援施設が少なく、とくに墓目には該当施設がないことから認可されたという。居室は9室で、自宅で用いている家具などの持ち込みも可能となっている。

申請にあたっては、安全性に優れた施設を実現するため、耐震構造を提案。実施設計にあたってはテクノストラクチャー工法が採用された。これにより、居間や食堂は約70m<sup>2</sup>と広い空間が確保されている。正面から左右に伸びる廊下沿いに居室が配置され、両端にスロープを備えた非常口が設けられている。明確な平面構成とともに、複数の非常口を設けることで、震災だけでなく火災時の避難路も確保されている。居室は一人部屋で約10m<sup>2</sup>の洋室。常勤スタッフが入居者の認知症進行を抑えるようケアし、心身機能の維持向上とともに、地域住民どうしの交流の場として利用されることが期待されている。



### グループホーム ひきめの森

所在地 / 岩手県宮古市墓目  
 主 主 / 新岩手農業協同組合  
 設計 / フジワラ設計  
 施工 / 陸中建設株式会社  
 竣工 / 2013年12月  
 構造形式 / 木造(テクノストラクチャー工法)



テクノビームにより、約70m<sup>2</sup>と広い空間が確保された食堂・居間  
 照明器具には一体型LEDベースライト iDシリーズを採用



リビングステーションが採用された共用キッチン



建物両側と正面入口に設置されたスロープ



廊下に設置されたLED照明

